

単元名

あじさいファクトリー 振って眺めて楽しい！キラキラハーバリウムをつくって販売しよう！
～実態に合わせて内容を分けた協同的な作業学習の取り組み～

本単元で育成する資質・能力

主体性

日時 令和元年10月17日(木) 第2校時 9:30~10:20

学年 第2学年2名, 第3学年1名 計3名

1 題材観

特別支援学校指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)において「作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、児童生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会的自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。」と示されている。

本校では、職員室に作業内容募集の案内を配付し、職員から作業依頼をしてもらい、納品する学習を行うなど、作業学習を通して生徒の勤労感を育成することができる学習を工夫し、納品したときに依頼を受けた職員にアンケートに答えてもらうことで、自分たちの製品作りへの有用感や、次回の製品作りへの改善点を把握することで、意欲的に活動することができるように学習を計画している。

本題材では、ビーズや貝殻、造花などの小物を瓶に入れ、洗濯のりを使ってハーバリウムづくりを行う。それぞれに素材を分けたり、計量したり、数を数えたり、入れたりするなど、生徒の得意なことを活用しながら工程を分けることができる題材である。また、ビーズなどの素材の数を数える作業では、ホワイトボードに提示してある素材の情報を読み取り、自分で判断して作業することや友だちにていねいな言葉づかいで依頼する場面を設定することができる。また、ハーバリウムづくりの仕上げとして、ネイルグリッターを計量して入れ、洗濯のりを入れる作業や、ラッピングする作業では、検品したり、分からないところについて指導者に適切に援助を依頼できたりする場面を設定することができる。さらに、素材を色ごとに分ける作業と、素材を瓶に入れる作業、製品情報を記載したビニールタイづくりでは、自分で分かって行動できることや、作業が完了したときや失敗してしまったときに、報告・相談ができる場面を設定することができる。

ゴールをわいわい祭(町内のお祭)や梨咲祭(文化祭)での販売とすることで、身近な題材であると感じ、意欲的に取り組むことができる題材である。

2 生徒観

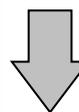
本学級の生徒は、学習に意欲的に取り組み、それぞれが苦手としていることにも、お互いに助け合うなど、あたたかい雰囲気での学習をすすめることができる。

各生徒の実態は次のとおりである。

(A) 指示されたことを素直に受け止め、何事にも意欲的に取り組むことができる。昨年度の作業学習では、最終の検品を担当するなど高度な技術をもった上級生の姿を見ており、作業学習に憧れをもって取り組んでいる様子が見られる。しかし、指示された内容が複数になると、一度に記憶できず、何をしようか分からないときがある。また、分からないときや困っているときに、自分から援助を求めることに難しさがあったり、作業内容に細かい変更があったときには、勘違いをしたまま気付かず作業したりするなど、集中力に課題がある。

(B) 繰り返し練習をして習得したことについては、自分から行動することができる。また、作業が終了したら報告することなど、作業の取り組み方などは、一度理解すると自分から行うことができる。キラキラしたものが好きで、ハーバリウムを光に透かして見ながら喜んでいる姿も見られる。しかし、手指の巧緻性の課題から、細かい作業には難しさが見られることがある。また、長時間の作業では集中力が続かないなどの課題がある。

(C) 繰り返し練習して、習得したことについては、自分から行動することができる。また、一人でできたことから自信を得て、作業することへの意欲を高めながら活動することができる。また、素材を同じ形で分けたり、同じ色で分けたりするなどの活動を得意としている。一方、周囲の音などの刺激により注意が途切れてしまうことが多い。また、手指の巧緻性の課題から、ねじを回すなど指先に力を入れる活動には苦手意識がある。10までの数について数えることはできるものの、複数の作業を併いながら数えることに関しては難しさがある。



3 指導観

作業学習の流れをパターン化したり、工程ごとに環境設定を行い、自分で分かって動ける場面を設定したりする。また、作業学習で何を学ぶか、絵カードを使いながら確認させることで作業への意欲を高めさせ、学習内容を意識させる。さらに、教員からのアンケートによる肯定的な評価等を活用するなどして、働く意欲を醸成させたり、改善点等の課題を明確にさせたりする。

(A)については、必要な素材を数字で表したカードを手元に置くことにより、素材を確認し、自分で判断しながら進めることができるようにする。また、失敗したときなど自分で判断ができないときには、指導者に自分で相談に行くように学習のルールを提示する。なお、作業の内容が変わるときには、作業する場所を変えるなどして、作業内容の変化をつかみやすいようにする。

(B)については、相談や報告に行く時に、自信のなさから声の大きさが小さくなることもあるので、声の大きさを数字で段階的に表したカードを使い、大きな声で報告ができるように意識付けをさせる。また、情報を記憶しておくことの難しさから、必要な素材を視覚的に示し、終わったものは、ホワイトボードの右側に貼り直すなど一つ一つ確認ができるようにする。また、指先の巧緻性の難しさから細かい作業を苦手としているので、つかみやすい素材である丸型、星型のビーズなども取り入れる。

(C)については、活動には意欲的であるものの、集中力が長続きしにくいことから、作業内容を複数用意し、目先を変えたり、次の作業を行う人に作業を依頼するなど、人と関わる場面を設定したりするなどして、作業への集中力を持続させるように工夫する。また、数字を記憶しながら作業することに難しさがあるので、数字の示してあるカードを使用したり、作業が完了したものを置くシートに数字を示したりするなどして、依頼された個数を正確につくることができるように支援する。

4 指導計画（全 23 時間）

次	時	学習内容
1	1	ハーバリウムの作り方を知ろう
2	3	ハーバリウムづくりの準備をしよう (素材を分けたり、集めたりする)
3	5	ハーバリウムを作って、職員室の先生にアンケートをとろう
4	8 (本時4/8)	販売に向けてハーバリウムをつくろう
5	2	つくったハーバリウムをラッピングし、販売の準備をしよう
6	4	販売しよう

5 題材の目標

- ・作業工程や自分の役割を理解し、積極的に作業に取り組むことができる。
- ・支援具などの正しい使い方を理解しながら、作業に取り組むことができる。
- ・はっきりとした声で報告したり、必要に応じて相談したりすることができる。

6 題材の評価規準

	評価規準	指導内容
A	<p>○ホワイトボードを見ながら、作業工程を確認し、集中して作業に取り組んでいる。</p> <p>○道具の正しい使い方を理解しながら、作業に取り組んでいる。</p> <p>○分からないことや困ったことがあったときに、自分から相談している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〔職業・家庭〕 職業分野 2段階 A職業生活 ア(ウ) ・〔職業・家庭〕 職業分野 2段階 A職業生活 イ(ア)⓪ ・自立活動 6コミュニケーション(5)
B	<p>○作業内容を理解し、手順に沿ってていねいに作業を行っている。</p> <p>○道具を適切に使って作業している。</p> <p>○作業が完了したときには、はっきりとした声で報告している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〔職業・家庭〕 職業分野 1段階 A職業生活 ア(イ) ・〔職業・家庭〕 職業分野 1段階 A職業生活 イ(ア)⓪ ・自立活動 5身体の動き(5)
C	<p>○作業工程における自分の役割を理解して、作業を行っている。</p> <p>○道具の正しい使い方を理解しながら、作業に取り組んでいる。</p> <p>○分からないときや失敗したときに、指導者や支援者に促されれば、相談したり報告したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〔職業・家庭〕 職業分野 1段階 A職業生活 ア(ウ) ・〔職業・家庭〕 職業分野 1段階 A職業生活 イ(ア)⓪ ・自立活動 3人間関係の形成(1)

7 本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわり

	育成したい資質・能力	◇目指す生徒の姿
価値観・倫理観	③主体性	A ◇ホワイトボードを見ることで作業工程を理解し、分からないことや困ったことがあったときに自分から相談して作業に取り組んでいる。
		B ◇ホワイトボードを見ることで自分の役割を理解し、手順に沿ってていねいに作業している。
		C ◇他の生徒の作業工程表があることにより、自分の作業とつながっていること、また、作業場所によって自分の役割が変わることを理解して作業に取り組んでいる。

8 本時の目標

(1) 全体の目標

- 作業に積極的に取り組み、自分の役割を最後まで果たすことができる。
- 適切なタイミングで報告・相談をすることができる。

(2) 個別の目標

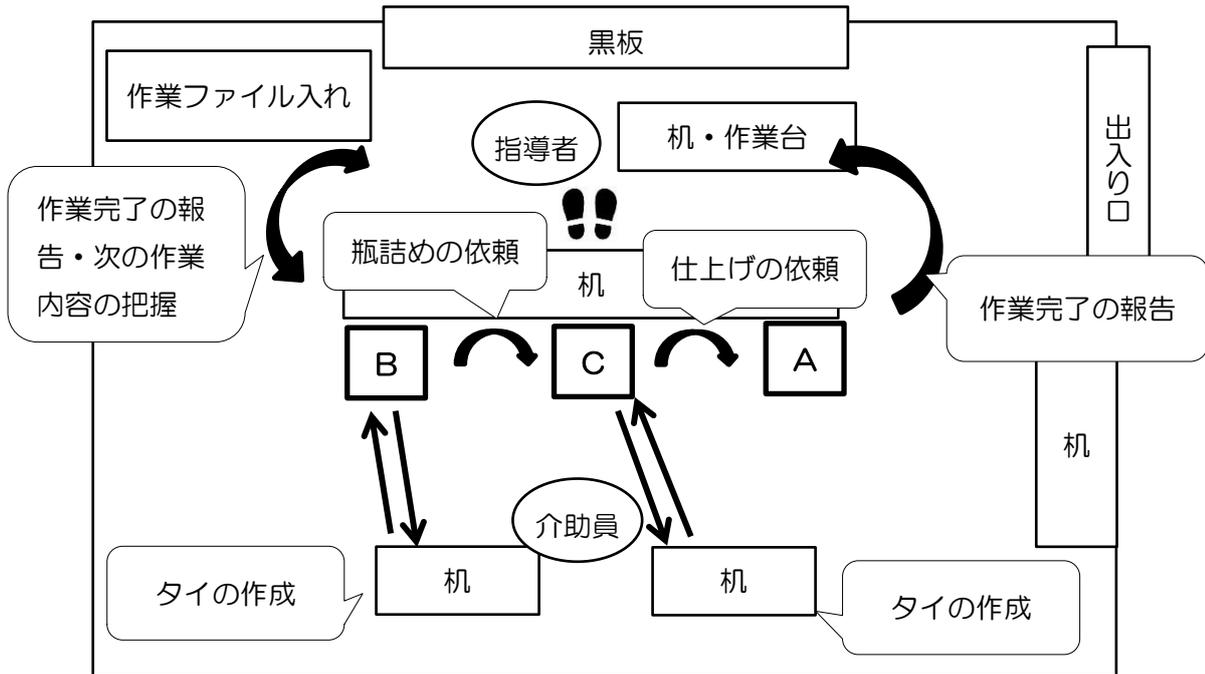
生徒	これまでの様子	目標
A	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた作業については、ホワイトボードを見ながらいていねいに作業ができるものの、作業時間が長くなると、集中が続かなくなったり、細かいところが雑になったりする。また、作業の内容が変わっても思い込みからそれまでに行っていた作業の内容で製品づくりをしてしまうことがあったり、それまでの工程の中で間違っただま作業が進んだりしているときでも、指摘できないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ていねいに最後まで集中して作業し、指導者に検品してもらう前に間違っていることがあれば報告することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割の工程が完了したときには、はっきりとした声で報告することができたものの、分からないときや失敗したときに、自分から相談できないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードを見ながら作業に取り組み、分からないときは、相談することができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容や作業の終わりを概ね理解し、ていねいに作業しようとする姿勢は見られたものの、細かい作業への苦手意識や疲れやすさなどから、作業時間が長くなると仕上がりが雑になるなどすることがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業工程が示してあるホワイトボードを見て、作業工程を理解しながら作業に取り組むことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 同じ作業を繰り返して行うことにより、作業内容を理解し、自分から考えて行動できる場面が多く見られた。しかし、作業内容が一部変わるなどしたときにどうしたらよいか分からず、相談することも難しいことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で作業の完了が分かり、「できました。」とていねいな言葉遣いで報告することができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し作業を重ねて、自分で考えて作業ができたときには、達成感を感じて喜ぶ姿が見られた。しかし、作業時間が長くなったり、作業学習とは関係のないところで、自分の想定外のことがあったりすると気持ちが向かいにくくなるなど、気持ちにムラがあるときがある。作業内容を複数準備することで気持ちを切り替えて作業に向かうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業場所が変わることによって作業内容や自分の役割が変わるということを理解し、作業することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 作業に達成感を感じているときには、はっきりとした声で報告したり依頼したりすることができるものの、気持ちにムラがあるときには、それを引きずって報告したり依頼したりする声小さくなることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お願いします。」とていねいな言葉遣いで依頼することができる。

9 準備物

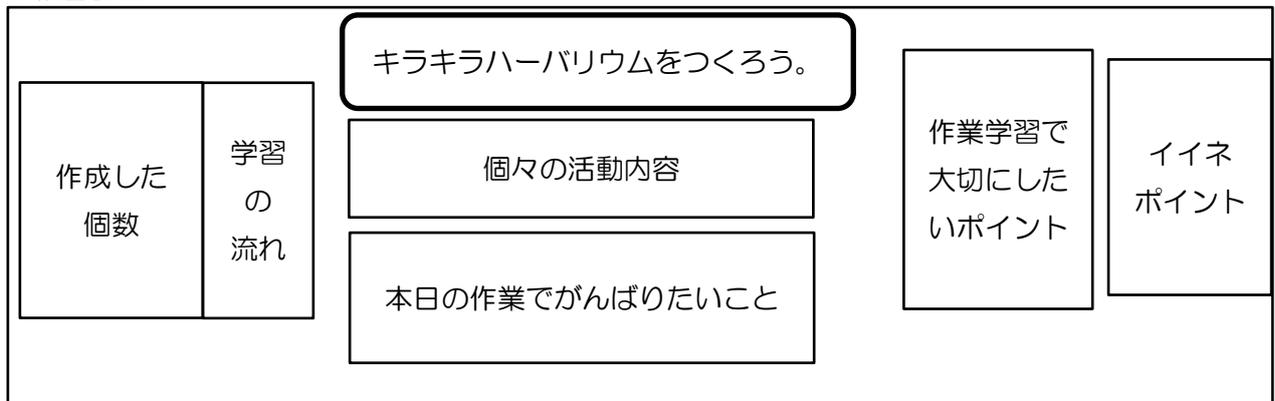
作業日誌, 名札, ハーバリウムの素材, 容器など

10 学習過程 (別紙参照)

11 教室内の配置図



12 板書計画



作業日誌

A・B

さぎょうにっし
作業日誌

月 日 ()

作業内容			
がんばり たいこと			
振り返り	項目	よくできた できた もうすこし ◎・○・△	
		自分	先生
	正しい姿勢で作業ができた。		
	自分から質問ができた。		
	大きな声で報告ができた。		
	正確に作業ができた。		

反省（作業をしてみて思ったこと）

先生から

さぎょうにっし

C

が 月 にち ()

なまえ ()		
さぎょうないよう		
ひょうか (○・△・×)	じぶん	せんせい
しせい		
しつもん		
ほうこく		
せいかくさ		

せんせいから

10 学習過程

学習活動	指導上の留意事項（□課題，○支援，☆評価）			全体における留意点	
	A	B	C		
1, あいさつをする。	休憩中に，作業ファイル，作業日誌，名札を準備しておく。 チャイムが鳴ったら，号令をかけて始業する。			1, 安定した状態で始業できるよう言葉掛けをする。	
2, 活動内容を確認し，作業日誌を記入する。 (5分)	○本日つくる製品の内容や目標数を把握する。 ○それぞれの活動内容を印刷したものを掲示する。 ○実態に合わせて表記の仕方を変える。			2, 全員で協力してハーバリウムが完成するというを確認する。	
3, 作業学習で大切な四つのポイントを確認する。 (2分)	正しい姿勢で作業する	自分から質問する	大きな声で報告する	正確に作業する	3, 順番に答えさせる。
4, 本日の作業でがんばることを発表し，共有する。 (3分)	○ホワイトボードに，それぞれのがんばることを書いて示す。			4, 友だちのがんばりをしっかり見ながら作業するように伝えることで，作業学習への意欲を高めさせ，全員が協力してハーバリウムが完成するという意識をもたせる。	
5, 作業準備をする。 (3分)	○それぞれの作業内容に合わせて道具の場所を変え，自分で判断して準備ができるように支援する。			5, 道具の場所を指示する。	
6, 作業を行う (25分) ・グリッターを入れる。 ・材料を数え，トレイに入れる。 ・材料をつめる。	ホワイトボードを見ながら作業に取り組み，分からないときは，相談する。 ○分からなくて固まっているときには，支援者が必要に応じて声かけをして，指導者に援助依頼に行く意識をもつように支援する。 ○グリッターに数字を記入し，自分で判断しなが	作業工程が示してあるホワイトボードを見て，作業工程を理解しながら作業に取り組む。 ○必要な材料の情報や個数などをイラストを使って視覚的に示すなどの支援を行う。 ☆作業工程が示してあるホワイトボードを見て，作業工程を理解しながら作業に取り組むことができたか。	作業内容を理解し，ていねいに作業する。 ○必要な材料をトレイに入れて分けておくなど，材料が混同しないように支援する。また，トレイの数が増えても作業内容の書いてあるホワイトボードと他のトレイが混ざらないよう	6, うまくできている点はほめ，集中した雰囲気の中で学習する良さを感じ取らせる。	

<p>•指導者に検品してもらい、合格した製品は、洗濯のりを入れ、仕上げをする。</p> <p>•材料の入ったトレイをCに容器につめてもらう依頼をする。</p> <p>•素材をつめた容器をAに仕上げを依頼する。</p> <p>•グリッターを入れ、仕上げる作業に取り組む。</p> <p>•作業の完了を指導者に伝え、次の作業内容（材料を選ぶ作業か、タグをつくる作業か）を把握する。</p> <p>•製品表示をビニールタイにつける。</p>	<p>ら作業できるように支援する。</p> <p>☆手順書を見ながら作業に取り組み、分からないときは、相談することができたか。</p> <div data-bbox="391 577 627 725" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「できました。」とていねいな言葉遣いで報告する。</p> </div> <p>○足型を示し、立ち止まって報告ができるような環境を整える。</p> <p>☆「できました。」とていねいな言葉遣いで報告することができたか。</p> <div data-bbox="391 1279 627 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ていねいに最後まで集中して作業し、指導者に検品してもらう前に間違っていることがあれば、報告する。</p> </div> <p>○素材の種類や個数を視覚的に示すことにより、仕上げで自分で検品ができるように支援する。</p> <p>☆ていねいに最後まで集中して作業し、指導者に検品してもらう前に間違っていることがあれば報告することができたか。</p>	<div data-bbox="659 577 901 725" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「お願いします。」とていねいな言葉遣いで依頼する。</p> </div> <p>○ホワイトボードを置く場所、トレイを置く場所を示し、作業内容が混同しないようにする。</p> <p>☆「お願いします。」とていねいな言葉遣いで依頼することができたか。</p> <div data-bbox="659 1279 901 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分で作業の完了が分かり、「できました。」とていねいな言葉遣いで、報告する。</p> </div> <p>○声の大きさが小さいときには、声の大きさを図で示したカードを使い、声かけする。</p> <p>○ビニールタイをつくる作業に移行するタイミングは指導者が指示する。また、作成する個数も示し、終わりが分かりやすいように支援する。</p>	<p>に環境設定する。</p> <p>○空の瓶を置く位置や作業スペースなどを視覚的に示す。</p> <p>☆作業内容を理解し、ていねいに作業することができたか。</p> <div data-bbox="943 577 1174 725" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「お願いします。」とていねいな言葉遣いで依頼する。</p> </div> <p>○立ち止まって次の作業の依頼ができるように、足型のシートで立つ位置を示したり、まっすぐ立っている様子を視覚的に表して伝えたりする。</p> <p>☆「お願いします。」とていねいな言葉遣いで依頼することができたか。</p> <div data-bbox="943 1279 1174 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作業場所が変わることによって作業内容や自分の役割が変わるということを理解し、作業する。</p> </div> <p>○ビニールタイをつくる作業に移行するタイミングは指導者が指示する。また、作成する個数も示し、終わりが分かりやすいように支援する。</p> <p>☆作業場所が変わることによって作業内容や自分の役割が変わ</p>	<p>作成するビニールタイの個数を視覚的に示すとともに、介助員と共有し、正確な個数作ることができるようにする。</p>
--	--	--	--	---

<p>•製品の完成状況によって指導者が指示した1～3の作業内容に取り組む。</p>		<p>☆自分で作業の完了が分かり、「できました。」とていねいな言葉遣いで報告することができたか。</p>	<p>るということを理解し、作業することができたか。</p>	
<p>7, 片付ける (3分)</p>	<p>○作業終了を指導者が伝え、決まった位置に作業道具を片付けさせる。</p>		<p>6, 片付けが終了したら、報告させる。(片付けが終了した生徒から振り返りを行うように言葉掛けをする)</p>	
<p>8, 日誌の記入を行い、学習の振り返りをする。 (5分)</p>	<p>本時の学習を振り返り、ていねいな字で日誌を記入する。 ☆本時の学習を振り返り、ていねいな字で日誌を記入することができたか。</p>		<p>8, 作業学習で大切な四つのポイントに即して振り返りをさせる。</p>	
<p>9, 日誌を指導者に見てもらい、評価のコメントをもらう。 (5分)</p>	<p>ていねいな言葉遣いで日誌を提出する。 ☆ていねいな言葉遣いで日誌を提出することができたか。</p>		<p>9, 本時のがんばりや次回の課題を一人一人にていねいに伝える。</p>	
<p>10, 本日の作業について相互評価をする。</p>	<p>○ホワイトボードにそれぞれのがんばることを視覚的に示す。</p>		<p>10, 本日の作業でのがんばりが肯定的に評価できるようにする。</p>	
<p>11, あいさつ</p>	<p>○必要があれば、姿勢を正すように言葉掛けをする。</p>			